



Press release

2026年1月13日

アクサ、世界の文化遺産保護を推進する 「ワールド・モニュメント財団」との グローバル・パートナーシップを発表

～能登半島地震により甚大な被害を受けた文化遺産の修復も支援～

※以下は、2026年1月8日に発表されたアクサグループのプレスリリースの抄訳です。原文は[こちらのリンク](#)からご覧いただけます。

アクサは、世界の文化遺産保護を専門とする独立組織である「ワールド・モニュメント財団（以下、WMF）」が隔年で実施する国際プログラム「ワールド・モニュメント・ウォッチ」を支援するため、複数年にわたるパートナーシップを締結したことを発表しました。このパートナーシップは、「文化遺産の保護と地域社会のレジリエンスは密接なつながりを持っている」というアクサとWMFの共通の思いに基づくものです。

WMFは1965年の設立以来、112か国において700以上の文化遺産を保護してきました。地域社会、支援者、政府と協働し、気候変動、包摂的な遺産保全、持続可能な観光などの課題に取り組みながら、社会のレジリエンスと包摂性の向上に寄与しています。

ワールド・モニュメント・ウォッチは、2年ごとに、公募を通じて世界で最も危機に瀕する文化遺産25件を選定し、支援を行うプログラムです。アクサは、本プログラムのリードパートナーとして、選定された遺産への初期支援（シード資金の提供）を行うとともに、文化と地域のつながりが息づく場所に対し、世界的な関心と支援を呼び込む役割を担います。

アクサグループおよびアクサ・ミューチュエル・ド・アシュランス（AXA Mutuelles d'Assurance）の主要なフィランソロピー活動を統合し、フランスをはじめ世界50か国で活動しているアクサ・ヒューマン・プログレス財団は、2025年の「ワールド・モニュメント・ウォッチ」プログラムで選ばれた下記の3つの重要文化遺産の修復を支援します。

● 日本・能登半島の文化遺産

2024年元日に発生したマグニチュード7.6の能登半島地震により甚大な被害を受けた同地域において、損傷の激しい文化財の修復を支援し、地域主導の復興や、文化の継承を軸とした長期的な再生を後押しします。

WMFは2025年、黒島地区の若宮八幡神社や七尾市の一本杉通りの歴史的建造物などの文化財の復旧支援を開始しましたが、本パートナーシップにより取組みがさらに強化されます。

- 黒島地区・若宮八幡神社（石川県輪島市門前町）

- 黒島地区の産土神（地域の守り神）として古くから信仰され、北前船文化と深く結びついた歴史を持ち、天領祭で知られる重要な文化拠点です。

- 七尾市・一本杉通り（石川県七尾市）

- 七尾市中心部にある約450～500mの歴史的商店街で、600年近い歴史を持つ地域です。七尾市の商業の中心として栄え、文化財建築や伝統工芸が残る貴重な歴史地区です。一本杉通りの4軒の登録有形文化財が主な修復の対象となっています。



- **フランス・ソルボンヌ礼拝堂**

フランス古典建築を代表する歴史的建造物で、文化・学術の拠点として再び開かれることを目指し、緊急の構造補強や芸術的修復が進められています。

- **トルコ・アンタキヤ地震遺産**

2023年のトルコ・シリア地震で被災したアンタキヤの文化遺産について、リスク低減のための計画づくり、長期的な修復、そして地域コミュニティのさらなる参画を進めます。特に、アンティオキア・ギリシャ正教会やアンティオキア・シナゴーグの初期修復を踏まえ、次の段階へと取り組みを広げていきます。

アクサは、文化的に重要な地域への投資を通じて、より安全で、より強く、より結びつきのある社会の実現に貢献したいと考えています。また、アクサは、ワールド・モニュメント・ウォッチの取組みを広く社内でも紹介し、社員の参加を促進していきます。

ワールド・モニュメント財団 (WMF) について

ワールド・モニュメント財団は、世界の貴重な文化遺産を保護し、人々の生活を豊かにし、文化やコミュニティを超えた相互理解を促進することを使命とする独立系の国際組織です。ニューヨーク本部のほか、カンボジア、中国、フランス、インド、ペルー、ポルトガル、スペイン、英国に拠点を置き、1965年の設立以来、112か国700以上の遺産地で国際基準に基づく保存活動を行ってきました。地域社会、支援者、政府と協働し、気候適応、包摂的な遺産保全、持続可能な観光、危機後の復興といった現代的課題に取り組んでいます。

アクサ・ヒューマン・プログレス財団 (AXA Foundation for Human Progress) について

アクサ・ヒューマン・プログレス財団 (AXA Foundation for Human Progress) は、アクサグループおよびアクサ・ミューチュエル・ド・アシュランス (AXA Mutuelles d'Assurances) の主要なフィナンソロピー活動を統合し、フランスをはじめ世界50か国で活動しています。年間6,000万ユーロの基金を活用し、健康・科学、環境保護、連帯・包摂・教育、そして芸術・文化・遺産というアクサの4つの重点分野で、社会に大きな影響をもたらすプロジェクトを推進しています。

同財団は「すべての人々のより良い未来のために。私たちは皆さんの大切なものを守ります」というアクサのパスを体現し、社会のレジリエンス向上と不平等の是正に取り組んでいます。

アクサ・ホールディングス・ジャパンについて

アクサ・ホールディングス・ジャパンはアクサのメンバーカンパニーとして、2019年に設立された保険持株会社です。傘下にアクサ生命、アクサ損害保険の2社を擁しています。

本件に関するお問い合わせは下記までお願ひいたします：

アクサ・ホールディングス・ジャパン株式会社
コミュニケーション・ブランド & サステナビリティ
電話：03-6737-7200
<https://www.axa-holdings.co.jp/>

アクサグループについて
アクサは世界50の国と地域で154,000人の従業員を擁し、9,500万人のお客さまにサービスを提供する、保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。国際会計基準に基づく2024年の売上は1,103億ユーロ、アンダーライニング・アーニングスは80億ユーロ、2024年12月31日時点における運用資産総額は8,790億ユーロにのぼります。アクサはユーロネクスト・パリのコンパートメントAに上場しており、アクサの米国預託株式はOTC QX プラットフォームで取引され、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス (DJSI) やFTSE4GOODなどの国際的な主要SRIインデックスの構成銘柄として採用されています。また、国連環境計画・金融イニシアチブ (UNEP FI) による「持続可能な保険原則」および「責任投資原則」に署名しています。

*アクサグループの数値は2024年1月～12月の業績です。